

昭和十七年五月十八日

防空實施計畫

クワラピラ 警備隊

0494

一、要旨

敵機ノ空襲ヲ未然ニ防止スルト共ニ空襲ノ際ニ於ケル軍隊  
及住民ノ匿着ヲ完全ニシテ損害ヲ防キ以テ防空ノ完璧  
ヲ期ス

二、對空監視及對空射撃

一、對空監視

對空監視ハ別紙要圖ノ如ク配置ス  
之ハ區署ハ機関銃小隊長ニ於テ實施スルモノトス服  
務要領及特別守則別紙第一ノ如シ

二、對空射撃

各自ハ敵機襲来ノ報ニ接スルヤ小隊長(分隊長)指  
示ニ基キ直ニ兵舎裏護護林内ニ遠藏シ常時對空  
射撃ヲ實施シ得ルノ態勢ニ在ルベシ  
射撃實施及場所等ハ其ノ都度別命ス

0495

### 三、燈火管制

燈火管制ハ通常管制トス

非常管制ノ實施及解除ハ警備隊長之ヲ命ス

但シ狀況急ヲ要スル場合ハ將校責任ヲ以テ非常管制

ヲ命スルコトヲ得

非常管制實施ノ監督ハ軍隊ニ在リテハ警備隊長住民

ニ在リテハ郡長ノ責トス

但シ警備隊長ハ所要ニ應シ地方側ニ協力ス

ハ非常管制警報ヲ尤、如ク定ム

ハ 鐘 連續亂打

ハ 電燈 数秒間隔ノ點滅反覆

ハ 管制解除

ハ 鐘 二打反覆

ハ 電燈 約二十秒間隔ノ點滅反覆

0496

四 防空壕ノ整備

警備隊ノ防空壕ノ整備ハ逐次之ガ補修ヲ行ヒ或ハ新設ス  
北方側ハ郡長ノ指示ニ基キ既設防空壕ノ補修ヲ行ヒ要  
スレバ新設シ敵襲ニ際シテ損害ノ減少ニ勉ムヘシ

五 情報報ノ遠達

對空監視哨並各警備衛兵ハ敵機ヲ發見シタ場合ハ機ヲ  
失セス警備隊本部ニ急報スベシ  
警備隊本部ハ隔地駐留部隊ニ電話ヲ以テ通報スルト共ニ  
一般住民ニ遠達ス

六 雜

人未ダ防空壕整備出テサル場合ニ於テ敵機ノ襲来ヲ受ケシ  
際ハ機ヲ失セス護護林或ハ上空ニ遮蔽シ損害ヲ蒙ラザ  
ル個所ニ避難スベシ  
又防空演習ノ實施ハ別ニ定ムル處分ニ依リ實施ス

對空監視哨

一 兵力編組

長 下士官 若クハ兵長

歩哨 一、二等兵

計

一 名  
三 名  
四 名

二 服務要領

一 軍裝ニシテ背囊被甲ヲ除キ眼鏡遮光眼鏡及連絡器ヲ携行スルモノトス  
監視所ニ到着後ハ雜囊水筒ヲ脱シ服務スルモノトス

二 彈藥ハ定數ヲ携行スルモノトス

三 服務時間ハ八時ヨリ二十一時迄トス

四 敵機襲来ノ場合ノ連絡ハ鐘ヲ亂打シ最寄ノ者ニ連絡スルモノトス

0498

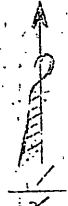
三 特別守則九ノ如シ

1. 此ノ監視哨ハ警備隊ヨリ出サレタル對空監視哨ナル
2. 方位ハ方向指示板ニ依ル
3. 特ニ監視スベキ方向ハ3ノトス
4. 敵機ヲ發見シタ場合ハ直ニ監視長ニ急報ス

0499

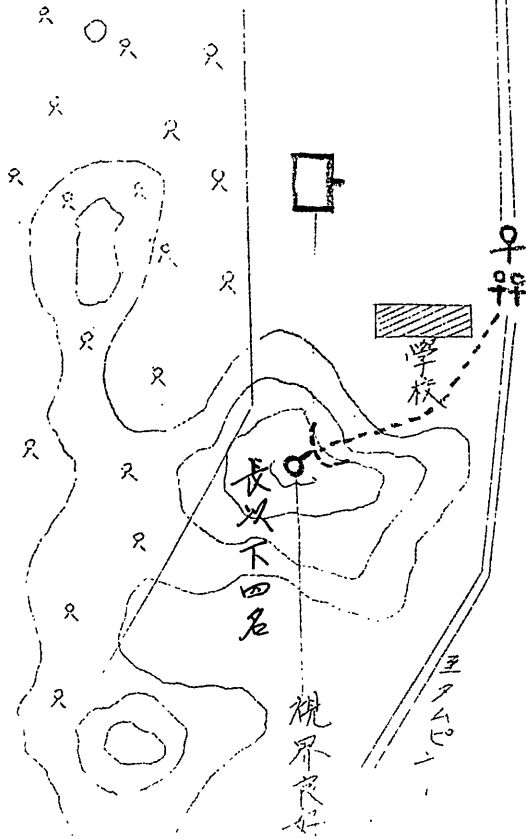
對空監視哨配置要圖

別紙要圖



至セシムパン

至ハハツ



連絡経路

0500

地方側防空計画

一 燈火管制 尤、如ク定ム

尤 記

|         |             |      |
|---------|-------------|------|
| 區       | 責任者         | 電話番號 |
| スウラピラー所 | スウラピラ警察署長   | 一九番  |
| 家       | エス、ヴィ、カンダイア | 八番   |
| バハウ路    | 警察署長        | 一五番  |
| 丘上住宅地   | 郡長          | 三番   |
| 女病院     | ホナツパ        | 一七番  |
| 發電所     |             |      |

二 警備隊ヨリ敵機襲来ニ付警察署ニ通報アリタル場合

ハ警察署ヨリ警報掛ハ電話ニテ通報ス

電話番號ハ前記ノ通リトス

0501



頃存トシテ先ツニ之番發電所へ通報ス

發電所ハ警報ヲ聞クト直チニスイッチヲ切リ消燈ス

警報ハ連續亂打ノコト 解除ハ遲ク規則正シク一定

ノ間ヲオイテ打ツ事、總ベテ警備隊長ノ命令ニ依リ

實施ス

ニ務部及ビ衛生部ニ於イテハ下記ノ場所ニ防空壕ヲ

設置ス

一 市中

二 病院

三 住宅區域

四 喫茶店(納涼所)

五 マレー人學校

六 郡役所

### 三 警戒管制

總ベテランゾハ光ガ建物ヨリ淺レヌヤウ適當ノ覆ヲ去テ

0502

非常管制

總べてノ燈火ヲ消スコト

警戒管制ハ五月二十三日ヨリ開始ス

警察官ハ各責任所ト共ニ町ノ警戒管制状況ヲ巡察

徹底化ス

自動車自轉車ノ燈火ハ總べて消滅ノ規定ニ從フ

0503